基礎交付金事業実績書

団体名:中津山コミュニティ運営協議会

1 総事業費 2,518,836 円

2 事業内容

(1) 事業名 地域づくり活動情報発信事業

事業費	302, 364 円
	◆情報発信
	場所:中津山公民館事務室
事类内容	日程:令和6年4月~令和7年3月
事業内容	対象:中津山地域住民
	内容:コミュニティだよりの発行、HP の入力(予定表・ブログ等)公式 LINE、
	インスタグラムの運営
	・コミュニティだよりは令和7年3月発行
	(一年間の地域づくり事業の総集編)
事業成果	・公式 LINE 運営
	・インスタグラムの開設、運営
	・登米市教育情報サイトの入力(予定表・ブログ)
	・情報発信に必要な資材の購入

(2) 事業名 子ども見守り事業

事 業 費	20,681 円
	◆なかつやま子ども見守り隊
	場所:中津山地域全域
	日程:令和6年4月~令和7年3月
	対象:中津山地域在住の中学生までの子ども
事类中容	内容: ①地域の子ども達の登下校や屋外活動時の見守り
事業内容	②地域内の危険箇所の把握
	子ども見守り隊員は隊員証を携行し、更に可能な方は自家用車に見守り隊
	マグネットステッカーの貼付けを行い、巡回する。
	中津山公民館、中津山小学校、米山中学校、中津山駐在所、見守り隊員がそ
	れぞれ連携し情報共有を行う。
	・子ども見守り隊は中津山コミュニティ総務部員、中津山コミュニティ子供育成部員、
事業成果	防犯指導隊、交通安全協会中津山支部、中津山小学校PTA、米山中学校学区長、民
	生委員で構成し、隊員数は約50名。
	・中津山地域内で子どもが関係する事故等はなかった。

(3) 事業名 居場所づくり事業『あづまっぺ!』

事 業 費	35, 891 円
	◆居場所作り事業『あづまっぺ!』
	場所:①中津山公民館和室
	②中津山公民館視聴覚室(夏休み会議室解放)
	日程:①令和6年5月1日(水)、7月16日(火)、9月11日(水)、11月11日(月)、
	令和7年2月26日(水)午前10時から午前11時30分まで
事業内容	②令和6年7月31日(水)、8月1日(木)、8月6日(火)、8月19日(月)、
	8月23日(金) 午前9時から午後5時まで
	対象:①中津山地区住民年齢性別不問
	②米山町在住の小学生・中学生
	内容:①集まってお茶を飲みながら雑談などで交流を図る。
	②夏休み期間中に会議室を開放し、公民館で子どもの居場所づくりを行う。
本 * * * * * * * * * * * * * * * * * * *	・①全 5 回の参加人数は 57 名。
	この事業を通して顔見知りになったり、交友関係が広くなった参加者がいた。皆さ
事業成果	ん楽しんで参加していた様子だった。
	・②実施期間中の利用人数は23名。

(4) 事業名 花いっぱい運動

事業費	141, 322 円
	◆花いっぱい運動
	場所:追土地集会所、大貝堤防、中津山小学校前道路緑地帯、松寿院前道路緑地帯、
	瀬ヶ崎集会所前緑地帯、内集会所花壇、米山幼稚園花壇、中津山小学校花壇、
	飛鳥未来きずな高校登米本校温室
	日程:令和6年5~6月実施(植栽場所毎に日時が異なる)
	対象:追土地行政区子供会、六軒屋敷行政区エコ保全隊、清水行政区老人クラブ、
	城内行政区老人クラブ・子ども会、瀬ヶ崎・粟ヶ崎行政区老人クラブ、米山幼
事業内容	稚園園児、中津山小学校児童、あすか未来きずな高校 ACE クラブ所属生徒
	内容:①マリーゴールドの苗を購入し各行政区に配布。行政区の緑地帯に植栽する。
	また育苗が可能な行政区には種代・肥料代などの経費を支払い、育苗から植栽
	まで行ってもらった。
	②米山幼稚園と中津山小学校に 100 株ずつ苗を提供し、植え方を教えながら
	一緒に植栽活動をした。
	③飛鳥未来きずな高校の ACE クラブ活動の一環として、マリーゴールドの育
	苗を依頼。育った苗は公民館前にプランターで設置した。
	・植栽活動参加者は約300名。
	・各行政区では高齢者や子ども達も一緒に植栽作業を行い、地域環境美化に努め、同
事業成果	時に世代間の交流を図ることができた。
	・幼稚園や小学校の植栽については、公民館館長が指導者となり、交流を図りながら
	植栽を行うことができた。

・飛鳥未来きずな高校の育苗については、育苗をとおして普段関わることが難しい高校生と交流を持つことができた。

(5) 事業名 地域づくり研修会事業

事業費	107, 539 円
本米 小点	◆元プロ野球パ・リーグ審判員『山崎夏生 氏 講演会』
	※地域づくり研修会事業と抱き合わせで開催
	場所:中津山公民館多目的ホール
事業内容	日時:令和7年2月15日(土)
	対象:中津山地区住民 年齢性別不問
	内容:29年間プロ野球審判を務めた経験や人生論を講演。
	・聴講者 61 名、講師 1 名、事務局 4 名、計 66 名
	・コミュニティ全部員を対象に、地域づくりや人生に役立つ内容で講師を招いた研修
	会を行う。今回は著名な方を講師に招き、一般の聴講者も参加できるよう『地域づ
	くり研修会事業』と抱き合わせで開催した。
	・講演テーマ『一途一心の野球道 〜奥深き判定の世界〜』
	プロ野球パ・リーグ審判員として、約29年間で一軍公式戦1451試合に出場。
事業成果	数々の名勝負を裁き、現在は「審判応援団長」として審判の権威向上と健全なる
	野球発展のために講演・執筆活動をおこなっている。
	・29 年間プロ野球審判を務めた経験や人生論を講演。
	山崎氏の生い立ちや、審判員としての苦労や失敗談などもユーモアを交えながら
	話し、会場から笑い声も起こっていた。米山の少年野球チームの子ども達と保護
	者も参加した。聴講者は頷きながら真剣な面持ちで聞き入っていた。
	・講演終了後は山崎氏のサインを求める長蛇の列ができ、最後まで賑わっていた。

(6) 事業名 交通安全・防犯啓発の推進活動事業

事 業 費		38,066 円
	◆シニア向け交通安全・防犯啓発教室	
	場所:中津山公民館多目的ホール	
	日時:令和6年6月3日(月) 午前10時開会	
	対象:中津山在住の高齢者	
	内容:①機材を使用した俊敏性・反射神経の測定	
事業内容	②防犯・交通安全講話	
	講師:宮城県警察交通企画課、宮城県警察佐沼警察署交通課	
	◆冬の交通安全に関するチラシを作成・配布	
	日時:令和7年1月30日(木) 毎戸配布	
	対象:中津山地区在住のドライバー	
	内容:冬の雪道運転をテーマにした注意喚起チラシ	

・参加者30名、宮城県警察交通企画課2名、宮城県警察交通課5名、交通安全協会中津山支部2名、米山町防犯指導隊1名、事務局4名、コミュニティ会長1名、計45名

事業成果

・高齢者を対象に安全運転の方法や歩行時の危険なケースを学び、地域の交通事故 0 を目指すことを目的に開催。機材体験コーナーでは反射性などの測定がゲーム感覚ででき、参加者は楽しみながら体験していた。後半の防犯・交通安全講話では、特殊詐欺の特徴や対策、暗闇時の運転・歩行の危険性について話があり、参加者は真剣な面持ちで聴講していた。

(7) 事業名 中津山歴史伝承事業

事 業 費	7,277円
事業内容	◆歴史講座『網場神社史』
	場所:中津山公民館多目的ホール
	日時: 令和6年6月27日(木) 午前10時開会
	対象:中津山地区住民
	内容:中津山地区の村社である網場神社の歴史を学ぶ。
	講師:鈴木 美広氏(清水行政区)
事業成果	・聴講者 53 名、講師 1 名、事務局 2 名、計 56 名
	・令和4年度末に行った地域住民アンケートにて要望があった『網場神社史』を題材
	に実施。聴講者募集チラシを毎戸配布後多数の応募があり、当初予定していた会場
	よりも広いホールで開催した。中津山地区内外から幅広い年齢層の聴講者が訪れ、
	関心の高さをうかがわせた。

(8) 事業名 健康寿命を延ばすためのシニア向け地域づくり事業

	
事業費	88, 194 円
	◆グラウンドゴルフ大会・健康講座
	場所:中津山グラウンド、中津山公民館多目的ホール
	日時:令和6年7月3日(水) 午前9時開会
	対象:中津山地区在住の高齢者
車米内穴	内容:中津山クラウンドにてグラウンドゴルフ大会を行い、競技終了後は公民館多
事業内容	目的ホールに移動し健康講座を開催。
	◆シニア向け健康づくりチラシを作成・配布
	日時:令和7年1月20日(月) 毎戸配布
	対象:中津山地区在住の高齢者
	内容:冬場のヒートショックをテーマにした注意喚起チラシ
	・参加人数 73 名 (男性 37 名・女性 36 名)、コミュニティ総務部員 5 名、事務局 4 名、
事業成果	コミュニティ会長 1 名 計 83 名
	・従来コミュニティ事業として実施していたシニア向けグラウンドゴルフ大会を、高
	齢者の健康寿命を延ばす事業としてがんばる応援交付金で実施。グラウンドゴルフ
	大会の集計を待つ間、健康講座を開催し全員で「北国の春」に合わせた健康手踊り

を行った。健康手踊りの講師は中津山地域内のボランティアさんにお願いした。参加者の皆さんは年齢を感じさせないはつらつとしたプレーを見せていた。

(9) 事業名 子ども防災体験事業

事業費	57, 510 円
	◆小学生向け火災予防オリジナルクリアファイルの作成・配布
	場所:中津山公民館
	日時:令和7年2月27日(木)
事業内容	対象:登米市中津山小学校児童・保護者
	内容:中津山小学校の全児童を対象に、児童向けの火災予防をテーマにしたオリジ
	ナルクリアファイル等の配布を行った。
	・参加人数約 150 名、事務局 2 名、計 152 名
	・第3次地域づくり計画の新事業。
	災害が頻発する近年、『命を守ること』を最重要課題とし、災害発生の仕組みや社
	会と地域の実態を知り、備え方や災害発生時の対処法を学ぶことを目的とする。ま
事 张	た子どもから大人まで、防災について教え合うことで、若い親世代の防災意識の高
事業成果	揚を図ることも目的の一つ。実施初年度の今回は、中津山小学生の児童・保護者対
	象に『火災予防』をテーマにクリアファイルを作成。表面は子ども・保護者の目を
	引くビジュアルを施し火災予防の大切さを謳った。裏面は火災にまつわるクイズを
	ビンゴ形式で掲載。家族で楽しめるよう作成した。2月27日(木)、中津山小学校
	の校長に全児童の家庭向けに配布を依頼した。

(10) 事業名 なかつやま夏まつり

事 業 費	426, 844 円
	◆なかつやま夏まつり
	場所:中津山公民館多目的ホール、公民館東側駐車場、B&G体育館アリーナ
事業内容	日時:令和6年8月10日(土)午後12時から午後7時まで
	対象:中津山地区住民、米山町住民
	内容:なかつやマルシェ、子供の広場、芸能コーナー、盆踊り、お楽しみ抽選会
	・来場者約 1,000 名、スタッフ 58 名、中学生ボランティア 15 名、高校生ボランティ
	ア1名、一般ボランティア3名、交通指導隊4名、芸能参加5団体、マルシェ出店
	者 13 店舗
	・昨年の反省を活かし、天候に左右されない会場設定を行った。盆踊りや子どもの広
	場などの主な催しは屋内開催にし、飲食が伴うマルシェのみ屋外で開催。事前準備
事業成果	を開催週の平日から行い、スムーズに準備ができた。
	・中津山初開催のマルシェでは様々な業種の店舗を招いたことで、多くの来場者を呼
	ぶことができた。
	・今年度から米山中学校・飛鳥未来きずな高校のボランティア計 16 名と地域ボラン
	ティア3名が新たにスタッフとして参加。コミュニティ役員だけでなく、ボランテ
	ィアとのつながりが生まれ有意義な祭りとなった。

・また、SNS(主に Instagram)で情報を拡散したことで中津山内外から多く人が集まった。

(11) 事業名 木工教室事業

事 業 費	47, 375 円
事業内容	◆木工教室
	場所:中津山公民館視聴覚室
	日時:令和7年3月5日(水)
	対象:中津山地区住民 年齢性別不問
	内容:地域の廃材を再利用し、2 時間程度でできる木工 DIY 講座を開催した。
	・参加人数4名、講師1名、事務局1名、計7名
	・第3次地域づくり計画の新事業。
	地域で生まれた端材や廃材を活用し、生活に身近な物を生み出す DIY を行う。環
事業成果	境保護、創造的な表現、そして実用性を兼ね備えている事業。
	・材料を確認しながら講師と相談し、時計・コースター・ペンスタンドの3種類を作
	成した。
	・木工作業好きの方が参加し「楽しかった」「また参加したい」等の声があった。
	・廃材は中津山六軒屋敷行政区の佐藤製材所から提供いただいた。

(12) 事業名 米山地区3小学校6年生交流会事業

事業費	24, 492 円
	◆米山地区3小学校6年生交流会
	場所:中津山公民館多目的ホール
事業内容	日時:令和6年9月20日(金)
	対象:中津山小学校・米岡小学校・米山東小学校6年生児童
	内容:中学校入学後のスムーズな関係作りを目的に交流会を実施
	・中津山小学校 6 年生 22 名、米岡小学校 6 年生 19 名、米山東小学校 6 年生 16 名、
事業成果	3 小学校校校長 3 名、3 小学校校教諭 7 名、米山中学校校長、卒業アルバムカメラ
	マン1名、スポーツ推進員2名、とめレクリエーション協会2名、事務局 10 名、
	計 83 名
	・米山地区3小学校の交流を通して、6年生の思い出をつくるとともに、今後の統合
	及び中学進学後の関係づくりに取り組む。児童の健全育成を促進するとともに、持
	続可能な地域コミュニティの醸成を図ることが目的。
	・当日朝緊張した表情で参加した児童達だったが、前半のアイスブレイキングで表情
	が和らぎ、チームで昼食をとる頃にはすっかり打ち解けた様子だった。

(13) 事業名 中津山コミュニティ部員研修

事 業 費	211, 763 円
本 类中心	◆元プロ野球パ・リーグ審判員『山崎夏生 氏 講演会』
	※地域づくり研修会事業と抱き合わせで開催
	場所:中津山公民館多目的ホール
事業内容	日時:令和7年2月15日(土)
	対象:中津山地区住民 年齢性別不問
	内容:29 年間プロ野球審判を務めた経験や人生論を講演。
	・聴講者 61 名、講師 1 名、事務局 4 名、計 66 名
	・コミュニティ全部員を対象に、地域づくりや人生に役立つ内容で講師を招いた研修
	会を行う。今回は著名な方を講師に招き、一般の聴講者も参加できるよう『地域づ
	くり研修会事業』と抱き合わせで開催した。
	・講演テーマ『一途一心の野球道 〜奥深き判定の世界〜』
	プロ野球パ・リーグ審判員として、約29年間で一軍公式戦1451試合に出場。
事業成果	数々の名勝負を裁き、現在は「審判応援団長」として審判の権威向上と健全なる
	野球発展のために講演・執筆活動をおこなっている。
	・29 年間プロ野球審判を務めた経験や人生論を講演。
	山崎氏の生い立ちや、審判員としての苦労や失敗談などもユーモアを交えながら
	話し、会場から笑い声も起こっていた。米山の少年野球チームの子ども達と保護
	者も参加した。聴講者は頷きながら真剣な面持ちで聞き入っていた。
	・講演終了後は山崎氏のサインを求める長蛇の列ができ、最後まで賑わっていた。

(14) 事業名 米山町合同歴史講座

事 業 費	0円
事業内容	◆米山町合同歴史講座
事業成果	・米山町3公民館で協議の結果、中止とした。

(15) 事業名 世代間交流事業『世代間交流書き納め会』

事業費		30,213 円
	◆世代間交流事業『世代間交流書き納め会』	
	場所:中津山公民館和室	
事業内容	日時:令和6年12月26日(木)	
	対象:中津山地区住民 小学生以上	
	内容:書道を通して日本文化を学び、多世代で交流することが目的。	

	講師からアドバイスを受けながら各自思い思いの文字を筆で書いた。
	書き納め会の後半は、しめ縄飾りを作成し記念品としてプレゼントした。
事業成果	・参加者 23 名、講師 1 名、事務局 4 名、計 28 名
	・地域において、世代を超えたつながりや相互理解を深めるため、世代間交流事業を
	開催。書道という日本文化を通して、多世代の同士の繋がりを深めることを目的と
	する。
	・冬休みの書道の宿題を書く小学生や新年の抱負を書く参加者など様々だった。
	・前年度よりも、家族参加や大人だけの参加も増えた。

(16) 事業名 なかつやまウィンターフェス

事業費	591,724 円
	◆ 『なかつやまいるみ』
	場所:中津山公民館屋外、玄関ホール内
	日時:令和6年12月1日(日)~25日(水)午後5時~午後10時点灯
	対象:中津山地区住民
	内容:公民館玄関(屋外)にイルミネーションを設置。
	玄関ホール内に米山幼稚園の全園児と中津山小学校の全児童にペットボト
事業内容	ルの装飾を依頼し、集まったペットボトルをクリスマスツリーの形に組立て
事未的分	展示する。地域住民の和みと交流の場とする。
	◆ 『なかつやまコンサート』
	場所:中津山公民館多目的ホール
	日時:令和6年12月1日(日)
	対象:中津山地区住民
	内容:米山出身もしくは中津山所縁の方に出演のコンサート事業。音楽を通じて
	豊かな心を育み地域住民同士の親睦と融和を図る。
	・『なかつやまいるみ』
	中津山小学校児童 150 名、米山幼稚園園児 9 名、事務局 4 名、地域ボランティア 3
	名、設置業者1名、計167名。他館内見学者多数。
	公民館の前を走行する車が徐行してイルミネーションを眺めたり、公民館に足
	を運んで見学する方が多かった。特にペットボトルツリーは、子どもの作品を見る
	ために親子で見学に訪れる方が多かった。
車業品用	・『なかつやまコンサート』
事業成果	観客約300名、出演者72名、スタッフ12名、事務局4名、音響・照明業者2名、
	計約 390 名。
	来場者先着 100 名にうちわや光る棒などのコンサート応援グッズを配布。昨年
	出演者の方に司会をお願いしたが、今年は AI 技術で作成したオリジナルキャラク
	ターが司会を務めた。本格的なジャズバンドや迫力の太鼓演奏など、子どもからお
	年寄りまで楽しめるコンサートとなった。また、学生ボランティアがウェルカムボ
	ードを作成するなど地域との繋がりも密になった。

(17) 事業名 地域防災活動の推進事業

事 業 費	45, 153 円
事業内容	◆家庭における火災予防講座
	場所:中津山公民館視聴覚室
	日時:令和7年1月22日(水)
	対象:中津山地区住民
	内容:家庭でできる火災予防について。
	全国で発生した火災の事例、実際に火災が起きた場合の避難方法や避難経
	路、火災報知器について、登米市、米山町内、中津山の火災件数について、
	公民館で購入した火災予防グッズについて使用方法などの説明。
	講師:登米市消防署南出張所 渡邊正樹氏
事業成果	・聴講者 10 名、講師 3 名、事務局 2 名、計 15 名
	・聴講者は10名と少なかったが、中津山内外から参加者が集まった。
	火災について関心が高かったようで、質疑応答ではたくさんの質問があがった。
	特に火災報知器については、そういった製品を選べばよいかなど細かな説明があ
	り聴講者は真剣に耳を傾けていた。

(18) 事業名 組織運営費

事業費	342, 428 円
事業内容	1) 地域づくり事業を推進するにあたり準備品を購入
	コピー用紙、事務用品等
	2) 需用費
	公用車ガソリン代、コミュニティ名入れ統一ユニフォーム(ベスト)、地域ボラン
	ティア募集パンフレット印刷代
	3) 役務費
	公用車タイヤ交換代
	4) 備品購入費
	屋外用ワイヤレスアンプ購入
事業成果	・消耗品等を購入することで地域づくり事業の円滑な推進が実施でした。
	・備品購入費で屋外用ワイヤレスアンプ購入を購入したことで様々な事業で活用す
	ることができた。
	・地域ボランティア『なかぼら T』メンバー募集パンフレットを印刷することでボラ
	ンティア組織の周知を図ることができた。